



リスクマネジメント研修



リスクマネジメント委員会では6月26日に事故防止・報告・検証マニュアルの読み合わせ研修を行いました。マニュアルを読み上げながら、なぜ事故が起きてしまったのか、どうしたら防ぐ事が出来たのか、事例や事故報告書を読み解きながら解説しました。

事故が起きてしまったら二度と同じ事故が起きないように、再発防止策を立て、その発防止策を後日検証し、防止策が徹底できているか再度振り返りを行います。

私たち支援員は、以下の事故防止活動をしています。

- ① 利用者の状態、身体機能、疾患に応じた支援（利用者ごとに対策）
- ② 施設内の設備や環境の整備（施設全体の対策）
- ③ ヒヤリハット活動

上記の取り組みを行いながら事故防止に繋がるよう研修を毎年実施しています。（記：清水）



あいのわ福祉会ではInstagramやXで施設での様子を投稿しています。
ぜひご覧ください♪



お知らせ ~information~

★内部研修

- 10月28日（火） 口腔ケア研修
10月29日（水） 消火器・通報訓練
11月7日（金） 感染症対策研修（防護服着脱訓練）

★その他

- 10月30日（木） インフルエンザ予防接種

【イベント】

- 11月23日（日） 足立区立第十三中学校「あしの芽祭」
11月29日（土） 障がい者週間記念事業販売
※上記の予定で自主生産品を出店します。
近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。
（広報担当：持留・船山・田井）

主任から

記録的な暑さが続いた今年の夏、皆さまいかがお過ごしでしたでしょうか。利用者の皆さまには、熱中症対策が義務化となり外活動が自粛のご協力をいただいた夏となりました。私は今年4月より、福祉園に異動し新しい環境にはじめは緊張もありましたが、職員や利用者の皆さまのあたたかさに支えられ、充実した毎日を送っています。この半年間、利用者の皆さまが安心して過ごせる環境づくりに努めるとともに、地域や外部とのつながりを大切に進めてまいりました。7月には今年度も福祉に興味関心がある学生の方を受け入れ、利用者の方々と実習生がふれあう中で、互いに学び合う機会となりました。実習を終えた学生からは、「障がい者へのイメージが実習前と後で変わった」との声も聞かれ、私たち職員にとっても刺激と学びの多い時間となりました。

また、先日行った地域交流行事では、多くの地域の方や子どもたちと笑顔でふれあうことができ、施設内は明るい声に包まれました。このようなつながりの場を今後も大切にしながら、誰もが安心して関われる開かれた施設づくりを目指していきたいと思っております。（記：関口）



NO. 188
令和7年10月20日 発行
発行者: 神明福祉園
発行責任者: 照井智幸
住所: 〒121-0057
足立区神明南2-6-18
神明障がい福祉施設内
電話: 03-5682-5370
FAX: 03-5682-5665

不審者対応訓練

8月下旬に神明3事業所合同で不審者訓練を実施しました。正面玄関から職員が入る際に不審者も後ろから侵入する想定で行いました。訓練内容は、不審者が館内に侵入した場合に備えて各グループの部屋の施錠やバリアードの設置と不審者は武器も持っていることを想定し、不審者役の職員が傘を振り回し、複数の職員がさすまたで制圧する訓練を行いました。さすまたの使用方法は、事前に動画で確認していましたが、使用して気づいた点は、訓練後、職員同士で共有をしました。今回、災害や事件は、いつ起きてもおかしくない意識が、防災・防犯につながりまた、訓練を通じて問題点を把握することが改めて大切であると感じました。（記：北川）





クラブ活動



今年度のクラブ活動は前年度同様音楽を楽しむ「かなで〜る」と、身体を動かして楽しむ「うごけ〜る」の2つに分かれて活動しています。

かなで〜るではカラオケを行い、利用者の方々が好きな音楽を流して楽しんでいます。

うごけ〜るではボウリングを行っています。滑り台を使用してボールを投げたり、利用者の方ご自身でボールを投げたりと様々な方法でピンをめがけてボールを投げています。ピンが倒れる音に盛り上がり、利用者の方々がお互いに応援や称賛しあっていらっしやいました。この他にも動画を観ながら音楽に合わせて身体を動かすフィットネスや、風船バレー等も行う予定です。

今後も利用者の方々がわくわくするような楽しい活動を考え提供してきたいと思います。(記：金井)



マルイ出店販売

6月6日から12日まで北千住マルイにて自主生産品の出店をしました。

神明は10日が当番日となり、午前中は神明福祉作業所、午後は2グループの利用者の方が福祉園の代表として店番に参加しています。

はじめは支援員の「いらっしやいませ〜」の後に続いて呼び込みをされていましたが、次第にお客様が店の前を通ると支援員よりも先に「いらっしやいませ〜！」と積極的に呼び込みをされる様子が見られ、とても頼もしく感じました。ご購入頂いたお客様に商品をお渡しする時には堂々と商品を渡す様子も見られ、店員として一生懸命頑張ってくださいました。皆様も出店の際は是非お立ち寄りください。(記：柳川)



地域交流会



8月8日に神明障がい施設では、年に一度の地域交流行事を開催いたしました。

今年のお題は「しんめい 遊びながら知ってみよう エッホエッホ」と題しまして、地域住民や子供たちを招いてのお祭りでした。お題にある「エッホエッホ」とは、SNSで流行っている動画だそうです。子供たちの中でも流行っている言葉で、今回のお題にも入れることでより、子供たちに親しみやすいお祭りになればと思いから考案しました。

今年度の地域交流行事は、2部制に分けて開催しました。1部は地域の方々に施設を知って頂くための見学会を実施しました。12名の方が来園され、施設の紹介と見学を行いました。利用者の方々は、沢山の来客に、元気に「こんにちは」とあいさつする方や、少し驚いた表情を見せる方、素敵な笑顔を見せる方など、皆さんそれぞれの表現方法で来客の方をおもてなししていました。来客の方々からは、施設への質問も多数あり、神明障がい施設に興味関心を持っていただけた時間となりました。

2部は、地域の子供たちを招いての地域交流行事を開催しました。福祉園の利用者の方々は、準備から携わりポップに色を塗ったり、ポスターを貼ったりと準備段階から進めてきました。当日は、ホールに「かき氷」「おかしすくい」「スーパーボールすくい」「飲み物」のコーナーを設け、別室で「革製品でキーホルダー作り体験」をしていただきました。子供たちからは「かき氷おいしい」「お菓子沢山もらった」などの声が聞かれたり、革製品でキーホルダーを作る際には、とてもこだわって作る様子も見られていました。

利用者の方々にも、かき氷の氷を削ってもらったり、好きなシロップを選びかけてもらうなどして、お祭り気分を体験していただきました。沢山の方が来園され、利用者の方々にとっても活気溢れる1日となりました。

(記：河瀬)

